年間授業計画 新様式例

# 高等学校 令和７年度（2学年用） 教科 工業 科目 デザイン実習

教 科： 工業　　科 目： デザイン実習　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

教科担当者：浅井、黒川、山崎

使用教科書：（ 工業735 デザイン実践 ）

教科 工業 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】デザインの基礎的基本的知識や技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事柄に対して疑問を持ち、デザインの力で解決手段を導き、提案・表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】デザインの学習を通して、人々の生活の快適さを考え学習する必要性を自覚し、取り組む姿勢を持つ。

科目 デザイン実習 の目標： １年次のデザイン実習の内容を踏まえ、基礎的な技術を実験や実習によって体験し、興味・関心を高め、工業の発展をはかる上でのデザインの意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、意欲的な態度を育てる。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 工業の各分野におけるデザインの意義や役割及び理論の知識や，関連する技能を身に付けるようにする。 | デザインにおける現在の産業社会に与える影響に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、解決する力を養う。 | デザイン分野において人々の生活の質の向上を目指して自ら学び，主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | ローテーションは１クラス３班編成で、デザインの基礎を学ぶ。 | | | | | | |
| | CI計画 | ・CI（コーポレートアイデンティティー：企業理念）を理解させ、ブランディング力を高めるにはどうしたらよいかの重要性について認識し、新たに立ち上げたブランドを想定し、名刺・封筒等のアプリケーション展開を考え制作する。<br>・一人１台端末の活用プレゼン資料等制作 等 | 評価方法<br>デザイン実習の学習目標をよく理解し、実習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身につけたかを評価する。<br><br>【知識・技能】<br>学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技術を用いて、より効果的な使用方法で作品制作で使用できるか。毎時間の実習内容や課題についてレポートにまとめて提出させ、その内容と考察等について評価する。<br><br>【思考・判断・表現】<br>課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を立てて考え、表現できているか、提案できているか。また、調査・分析ができているか。完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼンテーション）する力を総合して評価する。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>出席状況、作業過程での取り組む姿勢、生徒の自己評価、相互評価を参考とする。<br><br>これらを総括評価して５段階評定値とする。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 画像合成 | ・画像編集ソフト（Photoshop）を使い、画像の切り取り・レイヤーマスク・レイヤースタイル等の各種効果を身に付ける。その技術を活用して、オリジナルのチラシ等を制作する。 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 平面構成基礎 | ・デザインの基礎となる平面構成の基本的な技術を身につける（作図について、配色カード・画材・烏口の使い方）。 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 定期考査 | 実施せず | | | | | |
| 2学期 | CI計画 | ・CI（コーポレートアイデンティティー：企業理念）を理解させ、ブランディング力を高めるにはどうしたらよいかの重要性について認識し、新たに立ち上げたブランドを想定し、名刺・封筒等のアプリケーション展開を考え制作する。<br>・一人１台端末の活用プレゼン資料等制作 等 | 評価方法<br>デザイン実習の学習目標をよく理解し、実習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身につけたかを評価する。<br><br>【知識・技能】<br>学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技術を用いて、より効果的な使用方法で作品制作で使用できるか。毎時間の実習内容や課題についてレポートにまとめて提出させ、その内容と考察等について評価する。<br><br>【思考・判断・表現】<br>課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を立てて考え、表現できているか、提案できているか。また、調査・分析ができているか。完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼンテーション）する力を総合して評価する。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 画像合成 | ・画像編集ソフト（Photoshop）を使い、画像の切り取り・レイヤーマスク・レイヤースタイル等の各種効果を身に付ける。その技術を活用して、オリジナルのチラシ等を制作する。 | | ○ | ○ | ○ | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平面構成基礎 | ・デザインの基礎となる平面構成の基本的な技術を身につける（作図について、配色カード・画材・烏口の使い方）。 | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>出席状況、作業過程での取り組む姿勢、生徒の自己評価、相互評価を参考とする。<br><br>これらを総括評価して５段階評定値とする。 | ○ | ○ | ○ | |
| | 定期考査 | 実施せず | | | | | |
| ３学期 | CI計画 | ・CI（コーポレートアイデンティティー：企業理念）を理解させ、ブランディング力を高めるにはどうしたらよいかの重要性について認識し、新たに立ち上げたブランドを想定し、名刺・封筒等のアプリケーション展開を考え制作する。<br>・一人１台端末の活用プレゼン資料等制作　等 | 評価方法<br>デザイン実習の学習目標をよく理解し、実習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身につけたかを評価する。<br><br>【知識・技能】<br>学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技術を用いて、より効果的な使用方法で作品制作で使用できるか。毎時間の実習内容や課題についてレポートにまとめて提出させ、その内容と考察等について評価する。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 画像合成 | ・画像編集ソフト（Photoshop）を使い、画像の切り取り・レイヤーマスク・レイヤースタイル等の各種効果を身に付ける。その技術を活用して、オリジナルのチラシ等を制作する。 | 【思考・判断・表現】<br>課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を立てて考え、表現できているか、提案できているか。また、調査・分析ができているか。完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼンテーション）する力を総合して評価する。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>出席状況、作業過程での取り組む姿勢、生徒の自己評価、相互評価を参考とする。<br><br>学年の評価方法<br>　各学期の５段階評定値を総合評価して、単位認定の５段階評定値とする。 | ○ | ○ | ○ | |
| | 平面構成基礎 | ・デザインの基礎となる平面構成の基本的な技術を身につける（作図について、配色カード・画材・烏口の使い方）。 | | ○ | ○ | ○ | 合計<br>50 |
| | 定期考査 | 実施せず | | | | | |